

バス停への自転車利用の実態調査について

1. 実態調査内容について

1.1 調査対象バス停抽出の考え方

バス停の特性を考慮しながら、自転車との連携を図るのに適した地区（バス停）の抽出を行う。
バス停の特性としては以下が考えられる。

- ・ 駐輪のスペースがある（必須条件と考えられる）
- ・ 特定路線（そこまで行かなければ乗れない）のバス停である
- ・ 終端のバス停である（着席できる等のメリットがある）

これらの特性に該当するバス停としては、例えば小野原東、箕面墓地前、粟生団地などが考えられる。

今回の実態調査は、利用者が来る方向別のカウントとヒアリングの実施を行うことから、ターミナル全体に屋根があり、かつ十分な照明がある小野原東で行うこととした。

1.2 バス停への自転車利用の実態調査

バス停勢圏の拡大に向けた自転車との連携方策の検討に際して、バス停まで自転車で来てバスに乗り換える利用者の実態調査を以下の要領で行った。

項目	内容
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車でバス停に来て駐輪し、バスに乗る人（カウントのみ） ● バスを降りて、近くに止めてある自転車に乗って帰る人（ヒアリングのみ）
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ● 小野原東バスターミナル
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 該当自転車を目視でカウント（方向別時間帯別台数） ● バス→自転車の利用者に対して、ヒアリングを行う
ヒアリング項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 回答者の属性（性別、年代、おおまかな住所） ● 目的及び最終目的地 ● 利用頻度 ● 利用理由 ● バス停における駐輪場の要望
調査実施日時	<ul style="list-style-type: none"> ● 10月27日（月） ● カウントは始発（6：02）～終発（22：38）の、自転車で来てバスに乗る人のみ ● ヒアリングは13時～19時のバスを降りて自転車に乗る人のみ（トラブルを避けるため遅い時間には行わない）

■ 調査票

箕面市においては、鉄道やバスの利用に対して市民満足度が低く、また道路混雑など自家用車への依存が非常に高い状況です。

こうした交通問題の改善を目指して、公共交通の利用促進を図るために調査を行っております。

箕面市の交通のあり方を皆様とともに考えさせていただくためにも、ぜひともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

近畿運輸局 大阪運輸支局

箕面市 都市計画部 交通政策課

質問項目（調査員が記入します）

■回答者の属性

男性・女性

10代・20代・30代・40代・50代・60代以上

お住まいの地区_____

■目的（自転車＋バス）

通勤・通学・買い物・病院・その他

■利用頻度（自転車＋バス）

週に・月に _____回くらい

■バスの利用区間

_____停留所 から _____停留所

■バス停まで自転車を利用する理由

自宅からバス停まで遠いから

自転車の方が徒歩より早いから

自転車の方が徒歩より楽だから

寄り道するのに便利だから

その他_____

■駐輪場の要望

バス停の近くに駐輪場があったら

無料なら利用したい

有料でも_____円までなら利用したい

利用したいと思わない

以上

1.2 小野原東バス停の状況



前面道路の西側から見る。この建物の1階がバスターミナルになっている。



前面道路東側から見る。



バス入口。左側にはスーパーがある。



バス乗り場までの間の歩行者空間に、かなりの台数の自転車が駐輪されている。



バス乗り場は一箇所。隣にバスの待機場が 1 台分ある。

1.3 調査結果

- 自転車で小野原東バス停まで来た人は、男性 12 人／女性 15 人
- バスを降りて自転車に乗る人に対して行ったヒアリングは 12 人に聞いて 11 人から回答を得た。
- バス停まで自転車を利用する主な理由は「徒歩よりも自転車の方が速いから」が多く、「その他」として荷物があるためと答えた人がいた。
- 駐輪場が整備されたら利用するかという問いには、ほとんどの人が「無料ならば利用する」と答えたが、月 2000 円まで、1 日 100 円までなら利用するという回答者がそれぞれ 1 人ずついた。



調査状況写真01



調査状況写真02



調査状況写真03



調査状況写真04

バス停への自転車利用調査（小野原東） サンプル数11

問 1 今回の目的	その他内容	問 2 利用頻度（月・週）	問 2 利用頻度（回数）	問 3 利用停留所名	問 4 自転車利用の理由	その他内容	問 5 駐輪場利用意向	有料の場合の金額	問 6 性別	問 6 年代	調査時間（時）	調査時間（分）
1 3		2	5	小野原東 北千里	2		1		2	2	15	20
2 5	就職活動	2	4	小野原東 千里中央	2		1		2	2	16	0
3 2		2	5	小野原東 北千里	2		1		2	2	16	41
4 2		2	4	小野原東 北千里	5	荷物が多いから	1		1	1	16	42
5 1		2	3	小野原東 北千里	1		2	2月に2千円まで	2	4	17	12
6 5	娯楽	2	2	小野原東 北千里	5	急いでいるから	3		1	6	17	26
7 1		2	5	小野原東 千里中央	5	バスを降りてよく買い物をするため荷物が多くなるから	1		2	5	18	0
8 2		2	6	小野原東 千里中央	2		1		1	1	18	23
9 5	子どもの所へ	2	4	小野原東 北千里（日によって違う。北千里か千里中央）	5	荷物が多いから	1		2	5	18	32
10 2		2	6	小野原東 北千里	2		2	21日100円	1	1	18	52
11 2		2	5	小野原東 千里中央	2		1		2	1	18	53

1.4 今後の検討内容（案）

（1）バス停駐輪場の確保手法の検討

バス停駐輪場の整備を考えたとき、土地の所有形態（管理者）としては次のケースが想定できる。


【土地の所有形態（管理者）】


- 公共用地（道路）・・・・・・・・駅前広場駐輪場など
- 自治体の所有地
- バス事業者の所有地
- その他民地・・・・・・・・沿道の商業施設の駐輪場など

箕面市において、適切な場所がどの程度あるかを調査する。

またバス停駐輪場の整備例についても、今後情報を収集し、自治体等に整備・維持管理手法についてヒアリングを行う予定である。

■ サイクル アンド バス事例

自治体	バス会社	バス停／写真	備考
<p>浜松市 (静岡県)</p>	<p>遠州鉄道 バス、浜松 市循環バ スくるる</p>	 <p>(バス停名称不明)</p>	<p>バス路線網が租であるために利便性が低くなっている地域で、地形的要因などで自転車ニーズに对应されない都市のひとつの対策として参考になる事例 (出典：交通とまちづくりのレシピ集)</p> <p>平成9年12月25日に浜松市が建設省・運輸省・警察庁（当時）の3省庁より全国初のオムニバスタウンの指定を受け、人・まち・環境にやさしいバス交通の総合的な活性化のため、オムニバスタウン事業を平成13年度まで5年間実施。</p> <p>オムニバスタウンの指定を受け、ハイグレードバス停の整備など、さまざまな施策を実施してきた。</p>

自治体	バス会社	バス停／写真	備考
新座市 (埼玉県)	西武バス	 <p>(バス停名称不明)</p>	<p>バス停への屋根の取付け10か所、バス停近くへの自転車駐車場の設置2か所を行い、全体として市内85か所あるバス停のうち38か所に屋根を、9か所に駐輪場を設置し、快適バス通勤通学バックアップ計画を推進した。 (出典：新座市第3次基本構想総合振興計画後期基本計画)</p>
三郷市 (埼玉県)	東武バス、マイスカイ交通、京成バス、メートー観光、飯島興業バス		<p>三郷市のコミュニティバスを中心としたバス利用促進事業 サイクルアンドバスライド自転車置場を6箇所増設、1箇所整備(既設の自転車置場7箇所と合わせ13箇所に充実)する。 (平成14年3月～平成16年2月) (出典：国土交通省関東運輸局企画観光部HP)</p>
厚木市 (神奈川県)		 <p>鳶尾団地バス停：バス折り返し場内 用地：都市基盤整備公団所有地(無償使用貸借契約) 面積：178㎡ 駐輪台数47台(ラック式) 供用開始：H14.4.1(H13年度事業)</p>  <p>松蓮寺バス停：下りバス停前(神奈中厚木営業所南東角) 用地：神奈川中央交通(株)厚木営業所用地(無償使用貸借契約) 面積：139㎡ 駐輪台数：100台(ラック式) 供用開始：H18.4.10(H17年度事業)</p>	<p>※サイクルアンドバスライド自転車駐車場は、使用料及び使用登録等は不要。 (出典：神奈川県HP)</p>

自治体	バス会社	バス停／写真	備考
茅ヶ崎市(神奈川県)		<p>■設置場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松風台バス転回スペース ・鶴嶺小学校前バス停裏のスペース ・古川バス停付近の空地 ・堤坂下バス停付近  <p>○松風台バス停の簡易自転車ラック設置場所（12 台の駐輪ラックに加え、利用者の増加に伴い平成17年度に6台の駐車ラックを増設。）</p>  <p>○古川バス停の簡易自転車ラック設置場所（道路北側（アルパック側）で17台、道路南側で18台、計35台の駐輪ラックを設置）</p>  <p>○鶴嶺小学校前バス停の簡易自転車ラック（15台の駐輪ラックを設置）</p>	<p>■ラック等の設置</p> <p>○限られたスペースに効率よく整然と駐輪できる簡易ラックを設置する。</p> <p>■利用料金</p> <p>○駐輪スペース利用料金は無料とする。</p> <p>○バス代については、各自の負担とする。</p> <p>（出典：神奈川県 HP）</p>

自治体	バス会社	バス停/写真	備考
宇部市 (山口県)	宇部市営 バス	<p>駐輪場設置バス停：18ヶ所（平成 17 年度）</p> <p>国道190号等 岐波～則貞の間 岐波・丸尾・興産中央病院前・吉田・今村・常盤公園入口・則貞</p> <p>国道490号 八幡宮～沼の間 八幡宮・中尾・上宇部会館前・沼</p> <p>宇部駅～東割の間 宇部駅・厚南市民センター・中野・ゆめタウン宇部・黒石・西割・東割</p>	<p>「サイクル アンド ライド促進事業」</p> <p>【事業の目的】 市内のバス停数箇所に駐輪場を設置し、「サイクル アンド ライド」による公共交通機関への利用転換を促進し、マイカー利用の抑制を図ることで、地球温暖化防止、省エネルギーを進める。</p>

(2) バス停勢力圏拡大等を目指したネットワーク化の検討

箕面市が別途策定している「自転車走行環境ネットワーク化計画案」との調整を行う。